

温室効果ガス排出抑制計画書の概要（平成24年度提出分）

（施行規則第4条第1項第1号及び第2号に規定されない事業者〔一般事業者〕）

番号	事業者名	所在地	日本標準産業分類		計画期間 (年度)	温室効果ガス排出量				抑制目標(対基準年度比)		特記事項
			分類 番号	業種名		基準年度	基準年度 排出量 (t-CO2)	目標 年度	目標年度 排出量 (t-CO2)	総排出量 の対基準 年度比 (%)	原単位排 出量の対 基準年度 比 (%)	
1	株式会社秋田クボタ	秋田県秋田市寺内字神屋敷295-38	59	機械器具小売業	H24 ~ H26 (3カ年)	H23	421	H26	376	89.3	89.3	
2	株式会社へいあん秋田	秋田県秋田市川尻町字大川反23-84	79	その他の生活関連サービス業	H24 ~ H28 (5カ年)	H22	3,620	H28	3,439	95.0	95.0	平安閣秋田改修に伴い、熱源機器の変更を行った。(冷温水発生器(都市ガス)→空冷式ヒートポンプエアコン(EHP))
3	株式会社ナカヨ通信機	群馬県前橋市総社町1-3-2	39	情報サービス業	H24 ~ H25 (2カ年)	H23	53	H25	52	98.1	-	外灯(水銀灯)をLED等に変更します。
4	秋北バス株式会社	秋田県大館市御成町1丁目11番25号	43	道路旅客運送業	H24 ~ H28 (5カ年)	H23	7,473	H28	7,238	96.9	-	<p>バス&ウォーク事業 マイカー社会の進展や少子化・過疎化の進行により、乗合バス利用者は年々減少しており、路線の維持が大変厳しい状況にある。このため市民の日常生活に欠かすことのできない用事に利用する「生活交通」をどう確保していくかが大きな課題である。これまで「乗車促進のための個別訪問」や「路線バスで行くWEB観光マップ」などの様々な試みを行っております。</p> <p>バス&ウォーク事業の一つ、「バス停一里塚大作戦」は自分が決めたバス停の数だけ歩いてダイエット。帰りは路線バスに乗車して帰る運動です。バス停とバス停の間で、歩いた場合の消費カロリーがわかります。加えて車を使わなかった場合のCO2削減量もわかります。だからバス&ウォークは、自分の健康と地球の健康を考える、取組みを行っております。</p> <p>また、バスによるCO2排出量削減の取組としてエコ安全ドライブの推進やコンソーシアムでのCO2削減事業への実証に積極的に参加している。こうした取組を経て今後はバスでのCO2排出量の更なる低減を行い、マイカーと比較した際の優位性を確立し、マイカー利用から路線バスへの転換促進、地元企業へ「ノーマイカーデーの推進」と「バス&ウォークへの理解」の足がかりとしたいと考えております。</p>

※1 基準年度とは、原則として提出年度の前年度(ただし前年度の排出量が著しく変動した場合は前年度以外を基準年度することが可能)。

※2 目標年度とは、計画期間(提出年度を初年度に5カ年以内で各事業者が自ら設定)の最終年度。

※3 抑制目標は温室効果ガスの総排出量を基本としているが、温室効果ガス排出量を温室効果ガス排出量の抑制に係る取組が適切に反映される指標で除した「原単位排出量」によることとしている。